

たすけあう やさしいハート まちじゅうに



社協だより

214号

令和6年10月号

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

赤い羽根共同募金運動はじまる 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。

たすけあいの心

日本で共同募金運動が始まり、今年で78年目になります。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活や意識も変わってきました。このような時でも人々がともに生きていくという「たすけあい」の心は変わらずに、人々の幸せを願って、今年も共同募金運動が始まります。

令和5年度の
募金実績額は、
1,009万1,557円

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、



学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

令和5年度、みなさんのご協力で1,009万1,557円の募金が集まりました。ありがとうございます。

令和5年度
募金の使いみち

昨年度に市内で集まった募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、市社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。昨

年度に集まった募金は「令和5年度共同募金の使いみち(表1)」のように有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

令和6年度の
募金目標額

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

今年度の目標額は、昨年度実績と同額の1,009万1,557円です。今後も安定、継続して地域福祉事業を行うための「目標額」です。

一世帯700円の
目安額

市全体の目標額を達成するために、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのか」ということが分かりにくいいため、「一世帯700円を目安に協力していただく」と計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることとしています。

これは、募金目標額を達成するためにお願いする「目安」ですので、みなさんのできる範囲内のご協力をお願いします。

多くの人に
支えられている
共同募金

「共同募金実績額内訳(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面で、自治会長や隣組長、事業所や公共施設、福祉団体、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつくっていく原動力となります。みなさんのご理

災害等準備金の
積み立て

県共同募金会では毎年、県内のための災害等準備金を積み立てています。近年は災害も多く発生し、災害ボランティアセンターが開設される機会も増えていきます。この際に災害等準備金が活用され、災害ボランティアセンターの運営を支えました。毎年、みなさんからご協力いただいている赤い羽根共同募金が災害ボランティア活動も支えています。

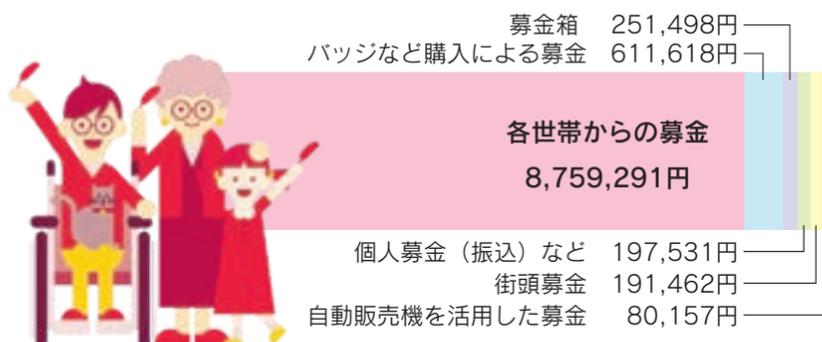
令和5年度 共同募金の主な使いみち (表1)

昨年度集まった、みなさんからの募金は下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさんのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。



宗像市内で活用したもの	金額
高齢者の福祉に ●在宅介護者家族の会の支援 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●配食サービスボランティアの支援	840,000円
障がい児・者の福祉に ●身体障害者福祉協会の支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●宗像コスモス会への助成金	1,557,000円
ボランティア活動に ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	534,000円
福祉会活動の支援に ●地域住民の自主的な地域福祉活動 ●民生委員児童委員協議会への助成金	2,656,000円
児童・青少年の福祉に ●市内幼稚園、保育園、小中学校、高校への福祉教育推進事業 ●小学校での車いす体験や手話体験などの福祉教育事業	262,000円
子育て支援活動に ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子寡婦福祉会の支援	215,000円
県内広域で活用したもの	金額
その他、県内の福祉施設への支援、災害ボランティア活動、福祉に関する情報提供や啓発活動など	4,027,557円

令和5年度 共同募金実績内訳表 (表2)



赤い羽根共同募金配分団体紹介

絵本の楽しさを届ける活動を行っています!

宗像市地域福祉文庫連絡協議会

宗像市地域福祉文庫連絡協議会では、赤ちゃんから高齢の方まで地域みなさんに絵本の楽しさを広めることを目的に活動しています。
「くまの子文庫」「自由ヶ丘文庫」「おいでおいで文庫」「仲よし文庫」の4つの団体で構成され、それぞれの地域を拠点に本の貸し出しや絵本の読み聞かせなどを行っています。

また、4つの文庫の会員が集まり、情報交換を行ったり、研修会を開催するなど会員の資質向上も図っています。
12月には子育て中の保護者を対象とした講演会も開催する予定で、絵本の素晴らしさを伝える活動も行っていきます。
このような活動は赤い羽根共同募金の善意に



仲よし文庫の活動の様子♪



子どもたちも夢中で本を読んでいます!

支えられています。心より感謝申し上げます。これからもみなさんが絵本を通じてふれあい、楽しく本に親しんでもらえるお手伝いができればと思います。これからもご支援、ご協力よろしくお願ひします。



参加者募集

在宅介護者

1泊リフレッシュセミナー

市内在住で、在宅で介護をしている方を対象に「在宅介護者1泊リフレッシュセミナー」を開催します。このセミナーは、在宅で介護している人の「こころ」と「からだ」のリフレッシュを目的に実施しています。

今回の行先は、福岡県の京築方面を予定しています。ちょっと介護の手を休めて介護者同士で楽しいひと時を過ごしませんか?

- 主催 市、市社会福祉協議会
●日程 11月19日(火)～20日(水)
●対象 市内在住で、在宅で介護している人
●行先 福岡県京築地区(築上町・豊津などを予定)
●参加費 8,000円
●募集人員 20人(応募多数の場合は抽選)
●申込方法 10月21日(月)までに市社会福祉協議会あてに氏名・住所・連絡先を電話またはFAXで申し込む



◆ゆったり茶話会
同センターでは、障がいのある人やピアサポーター(障がいのある当事者・家族の相談員)が一緒になって活動をするピアサポート事業を開催しています。
今回は、松ぼっくりで可愛いクリスマスツリーを作ります。障がいのある人で、レクリエーション活動を通して次第受付を終了いたします。

- 日時 12月8日(日) 午前10時受付～正午解散
●場所 河東コミセン
●対象 障がいのある人
●定員 10人
●参加費 300円(材料代として)
●申込期間 11月29日(金)まで
●申込方法は先着順とさせていただきます。定員に達し次第受付を終了いたします。
●問い合わせ先 同センター
FAX (34) 2422

参加者募集のお知らせ

第2回ピアサポート事業

土日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時
☎(34)2411 ☎(34)2402
メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

障害者生活支援センター

(宗像市役所・北館1F)

認知症サポーター養成講座

開催のお知らせ

誰もが認知症になっても安心して生活できる地域となることを目指して、「認知症サポーター養成講座」を開催します。みなさんもサポーターになって、住みよいまちを一緒につくっていきませんか?

- 日時 11月22日(金)14:00～15:30
●会場 メイトム宗像 202会議室
●参加対象 市内に在住、勤務、通学する人
●参加費 無料 ●定員 20人(先着)
●申込方法 電話またはFAXで市社協まで
●締め切り 11月8日(金)
●その他 受講された方には「認知症サポーターカード」を交付します。

認知症サポーター養成講座とは
認知症に対する理解を深める講座です(全国キャラバン・メイト連絡協議会に登録された講師が担当します)。

参加者募集

ひとり親家庭バスハイク

宗像市母子寡婦福祉会が、市内在住のひとり親家庭の親子を対象に、バスハイクを開催します。今年は、山口県下関市の「海響館」に行きます。あなたも、ひとり親家庭の仲間と親子で楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 日時 11月3日(日・祝)
●対象 市内在住のひとり親家庭の親子
●行先 市立しものせき水族館海響館
●参加費 ▼会員 1人 500円 ▼非会員 1人 1,000円
●定員 30人(応募多数の場合は抽選)
●申込方法 10月15日(火)までに市社会福祉協議会☎(37)1300へ電話で申し込む

ご寄付ありがとうございます

【香典返し】(敬称略)

- ・(故)藤島登志男(大島)
・(故)沖西ハル子(大島)
・(故)中野茂信(深田)
・(故)南 勇(横山)

(令和6年8月31日受付分まで)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留等でも受け付けができますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

社協だよりは、偶数月発行です(年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地メイトム宗像内
☎(37)1300 FAX(37)1393

大島支所 宗像市大島1809番地32
ふれ愛センター内 ☎(72)2294

ホームページ http://syakyo.munakata.com/
メール info@syakyo.munakata.com

本会は、むなかたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています

不登校を考えるかたつむりの会

講演会のご案内

参加者募集

「視点を変えて広がる世界」をテーマに、元養護教諭、杏林大学保健学部助教の沖津奈緒氏を講師に、ママたちの経験から見てきた生き方のヒントを研究発表します。「視点が変わり、癒される」体験ができる座談会・ワークショップも実施。ぜひ参加してください。

- 日時 10月12日(土) 10:00～12:30(受付9:45～)
●会場 メイトム宗像 202会議室
●講師 杏林大学保健学部助教 沖津奈緒さん
●対象 保護者、学校・教育関係者、不登校支援者、学生、不登校経験者等
●定員 60人 ●参加費 無料
●申込方法 電子申請(右記コード)
●問い合わせ先 かたつむりの会(黒木) ☎090(1515)1267



地域福祉文庫

参加者募集

講演会のご案内

市社会福祉協議会と市地域福祉文庫連絡協議会では、「子育てを豊かに」をテーマに講演会を開催します。今回は、初めてお子さんと一緒に参加できる絵本講演会を開催します。お子さんの反応を見ながら絵本の魅力を楽しみませんか?

- 日時 12月5日(木) 10:00～11:30(受付9:30～)
●開場 メイトム宗像 和室(1階)
●講師 子どもの本専門店 エルマー代表 前園敦子さん
●対象 お子さんとその保護者
●定員 15組 ●参加費 無料
●申込方法 11月28日(木)までに市社会福祉協議会☎(37)1300へ申し込む

